



公益財団法人 野間教育研究所 創立70周年記念 調査研究論文募集

応募申請は**2018年7月1日**①～**10月1日**① 午前10時まで
(郵送の場合は、9月30日の消印有効)

公益財団法人野間教育研究所は、
2020年4月1日に創立70周年を迎えます。
それを記念して、教育に関する調査研究論文を募集いたします。
論文作成に関する調査研究経費として
当研究所が50万円を負担し、紀要を刊行いたします。



募集対象

以下の4部門に分け、部門ごとのテーマに沿った調査研究を対象とします。ただし、共同研究は含まず、個人研究のみを対象とし、調査研究成果は未発表のもの（口頭発表は可）に限ります。学位論文執筆中の方は、その一部でもかまいません。各部門1件を選考します。

1. 日本教育史研究部門

第二次大戦終了から高度経済成長に至る時期における教育事象について、歴史的なアプローチにより解明しようとする基礎的研究

2. 社会教育研究部門

日本における青年の自立と教育に関する基礎的研究

3. 教育心理研究部門

子どもの道徳性や社会性の発達およびその支援に関する研究

4. 幼児教育研究部門

保育者の専門性と保育の質の向上の関連性について解明しようとする学術的研究

募集資格

日本の大学院で博士課程在籍中の者、または博士課程単位取得退学5年以内の研究者、および学位取得後3年以内の研究者とします。同一の研究テーマで既に科学研究費等や他からの研究助成を受けている場合は不可（研究テーマが違えば可）。

応募方法

別紙「申請書」に必要事項を明記し、ご応募ください。（申請書は、野間教育研究所ホームページからダウンロードできます）または、野間教育研究所のホームページの応募フォームからご応募ください。

【応募先】

〒112-0012 東京都文京区大塚 2-8-3

（公財）野間教育研究所

（Tel）03-3944-2421 （E-mail）ronbun70@nomaken.jp
申請書は、郵送、メールへの添付、応募フォームのいずれかで受け付けます。申請書が届き次第、1週間以内に野間教育研究所から受領のお知らせをお送りいたします。受領のお知らせが来ない場合はご一報ください。

応募受付日

2018年7月1日（日）～10月1日（日）

午前10時まで

（郵送の場合は、9月30日の消印有効）

審査方法

当研究所「70周年記念論文審査委員会」において申請書を審査のうえ、2018年12月10日までに決定します。審査結果は直接申請者に連絡するとともに、当研究所のホームページにおいて発表します。

審査の観点

テーマおよび方法が先駆的・独創的であるか、教育界に貢献できる実践性を伴っているか、期限までの論文完成の実現性が高いかどうか等を考慮して決定します。

審査委員

秋田喜代美（東京大学大学院教授）

飯田順子（筑波大学准教授）

上野浩道

（お茶の水女子大学・東京藝術大学名誉教授、野間教育研究所理事）

潮木守一（名古屋大学・桜美林大学名誉教授、野間教育研究所理事）

砂上史子（千葉大学准教授）

田嶋 一（元國學院大学教授）

寺崎昌男

（東京大学・立教大学・桜美林大学名誉教授、野間教育研究所理事）

鳥居和代（金沢大学准教授）

内藤俊史（お茶の水女子大学名誉教授）

中坪史典（広島大学准教授）

山岸明子（元順天堂大学教授、野間教育研究所理事）

米田俊彦（お茶の水女子大学教授）

渡辺弥生（法政大学教授）

研究経費金額

審査決定後、1件につき、50万円を調査研究経費としてお渡しいたします。申請書の研究目的であれば、使用費目は自由です。論文完成後1ヵ月以内に、領収書等を添付のうえ、収支報告を提出してください。

審査決定から論文完成まで

1. 決定者は、2020年9月30日までに調査研究成果を16,000～60,000字の論文にまとめてください。論文は、文章のほか、図・表・写真等の資料を加えて構成できます。資料を用いた場合は、各資料のスペースを文字数に換算して加えてください。
2. 論文は、「70周年記念論文審査委員会」で審議検討のうえ、当研究所の紀要として刊行いたします。単独刊行か、合本での刊行かは、審査委員会の裁量といたします。
3. 論文が学位論文の一部である場合、紀要刊行前にweb上で発表することは控えてください。研究発表の際は、本研究所の70周年事業論文であることを明記してください。
4. 調査研究内容が申請書の内容と著しく異なる場合や、調査研究成果論文の質が著しく低い場合は、紀要への掲載を見合わせる場合があります。
5. 論文の著作権は執筆者に、著作権は当研究所に帰属するものといたします。